

2021年10月8日

重症患者におけるバンコマイシン+ピペラシリン/タゾバクタム併用療法に起因する急性腎障害の発生頻度と危険因子の評価：単施設後ろ向き研究

1. 研究の対象

2014年4月1日から2021年3月31日までの間に大阪急性期・総合医療センターで、感染症に対する入院治療を行い、バンコマイシンという抗菌薬による治療を行った患者さんが対象になります。

2. 研究目的・方法

「目的」バンコマイシンによる急性腎障害の危険因子を明らかにすること

「方法」バンコマイシンとピペラシリン/タゾバクタムで治療を受けた患者さんと、バンコマイシン単独もしくはバンコマイシンと他の抗菌薬で治療を受けた患者さんで急性腎障害の発生頻度や患者背景を比較します。

「研究期間」倫理委員会承認後～2023年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：重症度、年齢、性別、身体所見、治療内容、血液検査結果 等

4. 外部への資料・情報の共有

データセンター（研究事務局）へのデータ提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

【研究代表施設】

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター

〒558-8558 大阪市住吉区万台東3丁目1-56

06-6692-1201（代表）

救急診療科 主任部長 藤見 聡

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

【研究事務局】

独立行政法人大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター
〒558-8558 大阪市住吉区万代東3丁目1-56

06-6692-1201 (代表)

救急診療科 診療主任 梅村 穰

薬局 技師 濱名 哲大

(:事務局代表者)